

会報 峠 とうげ

河井継之助記念館
友の会会報
第30号
2021.9

〈編集・発行〉
河井継之助記念館
新潟県長岡市長町1丁目甲1675-1
〒940-0053
Tel.0258-30-1525
Fax.0258-30-1526
頒布価：50円（送料別）

〈編集人〉
荒木法子 恩田富太
白石恒夫 中野武夫
友の会事務局
〈構成・印刷〉
高速印刷株式会社



第三代友の会会長 就任のごあいさつ

友の会会長 星 貴

令和元年（二〇一九）十二月十二日稲川明雄河井継之助記念館館長が急逝されました。長岡市にとって貴重なアーカイブを失ったと同じであり、私にとっては館長というより四十年来の恩師であり難題の答えを頂ける師を失ったような気持ちです。

先生を失って二年が経とうとしています。先生はこの感染禍の二年間を知りません。亡くなる四日前に小泉堯史監督と映画「峠―最後のサムライ」公開に向けたPRトークショーをユーモアたっぷりに語られていた先生はこの現状をどう受け止めているのでしょうか。

自らを振り返ると、昭和六十三年（一九八八）長岡まつり武者行列で軍事総督河井継之助役を演じました。当時「河井継之助を偲ぶ会」が河井隊を編成しており偲ぶ会で世話人会

の末席にいた二十八歳の私に大役が回ってきたのです。昭和六十三年は戊辰百二十年。六十年に一度巡ってくる戊辰の年でした。記念すべき節目の昭和戊辰の年に馬上で憧れの河井総督を演じられたことは感激もひとしおでした。

この年、長岡商工会議所で「一明



昭和63年(1988)8月2日
長岡まつり武者行列にて

治戊辰120周年記念「河井継之助と明治維新展」を開催、長岡城城郭模型の制作を担当し現在模型は、河井継之助記念館の傍らに置かれています。

記念館の開館準備の頃、館内に流す河井の絵本の映像化の許可申請に南会津の画家・辺見輝夫氏の家に稲川先生と伺いました。南郷のトマトジュースを箱買いする先生の姿が目

に焼き付いて離れません。またガトリング砲制作で内山弘先生と広井晃氏と試行錯誤したのも良い思い出です。

河井継之助の銅像には靴(ブーツ)を履かせています。

今泉鐸次郎著『河井継之助傳』の巻頭に外山脩造がスネルから借用した写真から転写した河井継之助肖像

画が載せられています。解説に「着流しにして靴を履き居り…(後略)」とあります。

銅像制作の際、長崎の龍馬ブーツ復元製作販売店ドンシユーズ様からブーツをお借りし峰村哲也氏のアートリエに持ち込み造形に取り入れて頂きました。

河井継之助記念館友の会は、全国の会員の皆様の熱い思いと応援があつてこそこの会であり河井継之助記念館であると信じています。今後とも皆様の熱い思いを期待しております。

映画「峠―最後のサムライ」の公開は延期となっておりますが与えられた公開までの時間を有効に使い河井継之助の魅力配信していきたいと考えます。継之助と同じ日に生まれたものとして。

※河井継之助

文政十年（一八二七）

一月一日（新暦一月二十七日）生まれ

星 貴（ほしたかし）

プロフィール

昭和三十五年（一九六〇）
一月二十七日長岡市生まれ

株式会社大坂屋書店/ユウセイプランニング代表取締役社長。長岡戦災資料館アドバイザー。山本元帥景仰会理事。幕末の銃器や軍装、太平洋戦史などを中心に研究している。ガトリング砲の復元にも尽力。